シンガポール・ビンタン島コース

「一生忘れられない修学旅行」

私が今回の修学旅行を通して思ったことは３つあります。

１つ目は、英語の大切さについてです。私が訪れた国のうち、シンガポールの公用語は英語だったので、現地で日本語を見ることはなく、文字や聞こえてくるものがすべて英語でした。現地の方に話しかけられた時にパニックになり、普段しっかり勉強しているはずの文法や単語が頭から飛んで行ってしまい、自分の伝えたいことが伝わらなかったこともたくさんありました。そのため、実践できる英語はとても大切だと思いました。

２つ目は、日本との文化や考え方の違いについてです。日本を出国してシンガポールの空港に着いたとき、正直言って日本よりも狭く豪華な感じもなく、トイレも日本に比べてキレイではなかったのでびっくりしました。ご飯を食べに行った時も見た目は日本と同じなのに味が違ったりしました。日本とのたくさんの違いにとまどいもあったけれども、受け入れてみたらまた違う楽しみがあって良かったです。また、日本の過ごしやすさについても、改めて実感しました。

３つ目は、仲間の大切さについてです。今回一緒の班になった５人のうち４人は初めて話す人でした。人見知りする私は修学旅行に行くまで仲良くできるかなど不安も少しありました。しかし、緊張しながらも話してみたら、私と趣味の合う人がいて、すぐに話が盛り上がり打ち解けることができて、抱えていた不安もなくなりました。また、ビンタン島などで、違う班で名前も何も知らない人と仲良くなれたりして、たくさんの友達ができました。最終日に私が少し体調を崩してしまったときも、友達が気遣ってくれたこともありました。引率してくださった先生や友達の大切さを感じることができました。

写真を見返すと、今でもキラキラした毎日が頭に浮かびます。たくさんの事を学べてたくさんの出会いがあった最後の修学旅行は、一生忘れられない大切な思い出になりました。